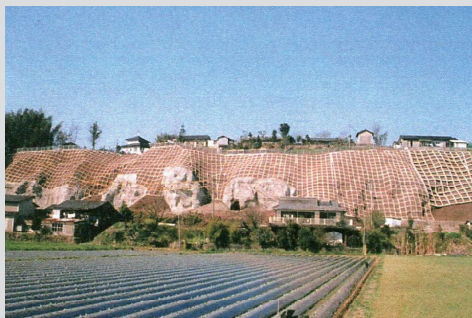




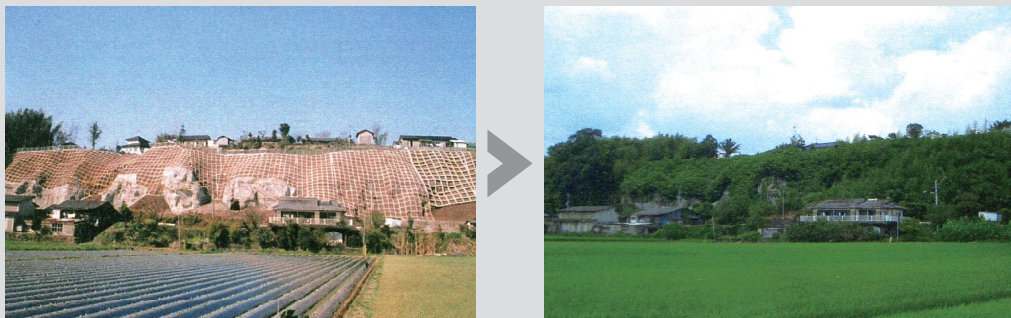
施工前



施工直後



施工前



1年4ヵ月後



活きた吸収源

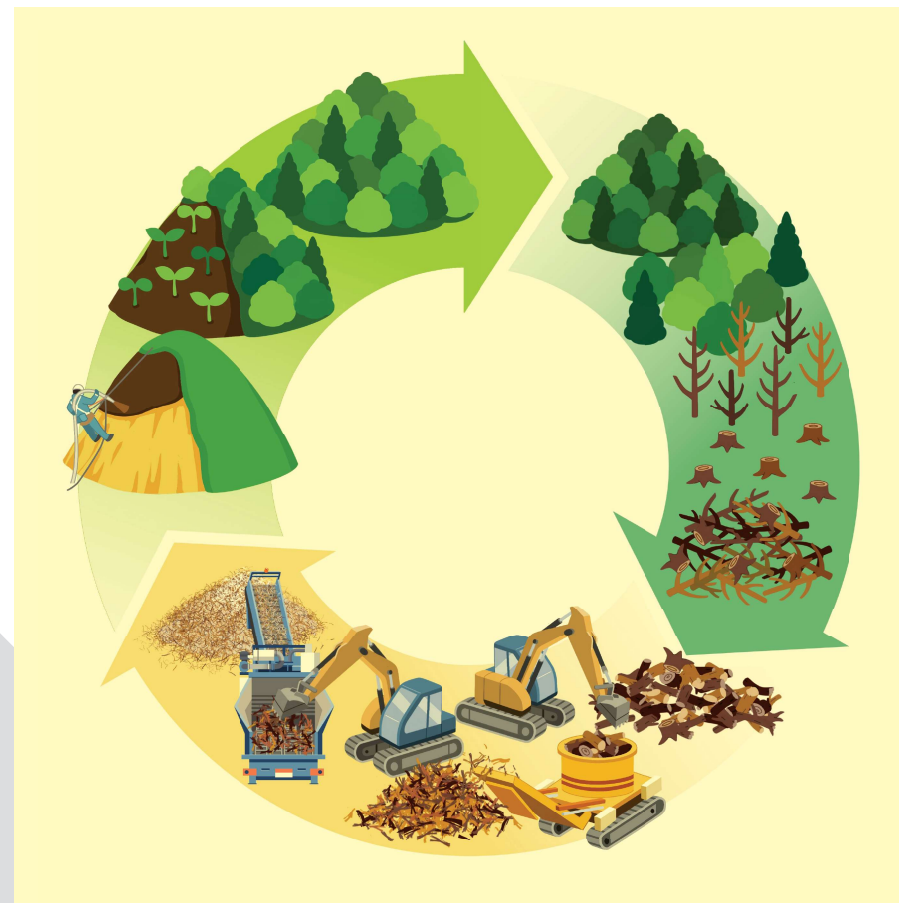
活きた補強土

NETIS QS-040019-VE 登録掲載期間終了



資源循環型緑化工

# デールチップ工法<sup>®</sup> PAT



デールチップ工法は、現場で発生する根株、幹、枝、竹材などをチップ化して利用する資源循環型緑化工法です。

## 特 長

チップ材の堆肥化が不要で、木質廃材をチップ化してすぐに緑化工事に使用できるので、資材の仮置きや堆肥化のためのヤードが必要ありません。

- ◆ 伐採木、間伐材、根株、剪定枝等の木質廃材をチップ化して資源循環
- ◆ 竹材の利用も可能
- ◆ 生チップをそのまま生育基盤材として使用できるので堆肥化が不要
- ◆ 現場発生する木質廃材や竹材のリサイクルによりコストを低減
- ◆ デールファイバーの配合で生育基盤の連結性と保水力・保肥力を向上
- ◆ 発生材の運搬・処分やチップ材の堆肥化を不要としたことで、従来工法と比較してCO<sub>2</sub>排出量を約35%削減できる低炭素型工法



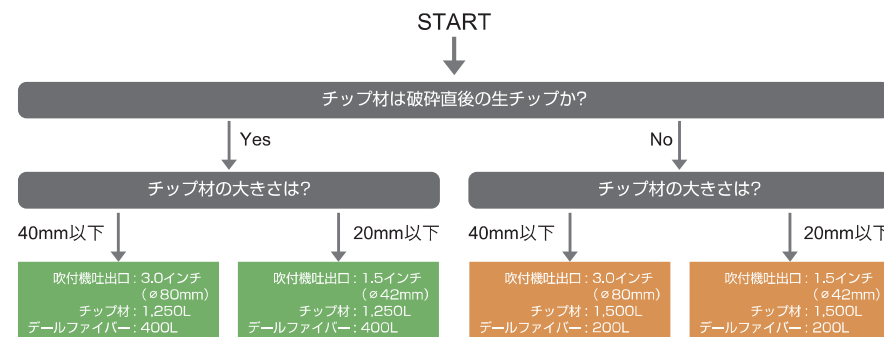
現場で発生する伐採・板根材をリサイクルして資源循環します。



## デールチップ工法の資源循環型緑化システム



## 施工機械と材料配合の選定フロー



### チップ材が破碎した生チップの場合 (1m<sup>2</sup>当り)

|                    | 規格・品質            | 数 量   | 単 位 |
|--------------------|------------------|-------|-----|
| 生育基盤材              | チップ材             | 1,250 | ℓ   |
| 基盤補助材              | デールファイバー         | 400   | ℓ   |
| 侵食防止材<br>(どちらかを選択) | 高分子系<br>パウダータイプ  | 1.5   | kg  |
|                    | 無機質系<br>レミコントロール | 60    | kg  |
| 種 子                | —                | 1     | 式   |

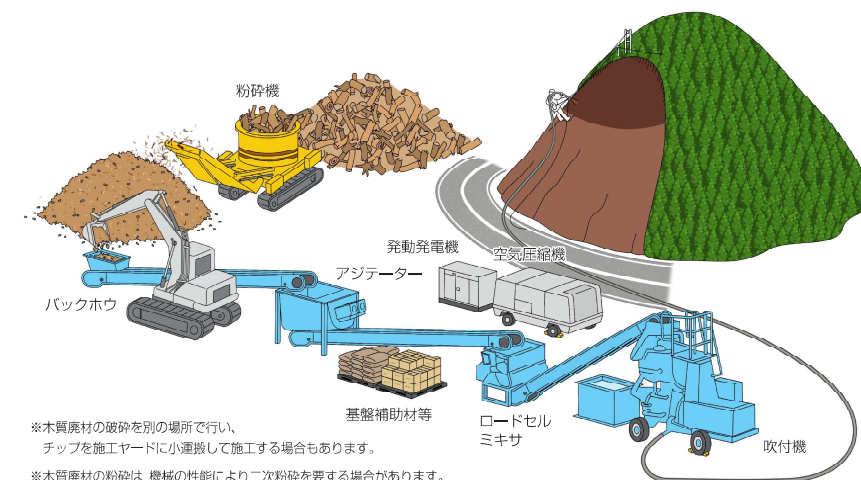
※デールファイバーは、短繊維材と緩効性肥料と保水材を混合した基盤補助材です。  
※国内産在来木本種子による自然回復緑化も可能です。

### チップ材が破碎後時間が経過して分解が進んでいる場合 (1m<sup>2</sup>当り)

|                    | 規格・品質            | 数 量   | 単 位 |
|--------------------|------------------|-------|-----|
| 生育基盤材              | チップ材             | 1,500 | ℓ   |
| 基盤補助材              | デールファイバー         | 200   | ℓ   |
| 侵食防止材<br>(どちらかを選択) | 高分子系<br>パウダータイプ  | 1.5   | kg  |
|                    | 無機質系<br>レミコントロール | 60    | kg  |
| 種 子                | —                | 1     | 式   |

※この材料配合は、長期間野積みされた破碎チップなど、ある程度分解が進んでいる場合に適用します。

## 施工システム



※木質廃材の破碎を別の場所で行い、チップを施工ヤードに小運搬して施工する場合もあります。  
※木質廃材の粉碎は、機械の性能により二次粉碎を要する場合があります。カタログ表紙のイラストは、二次粉碎する場合をイメージしています。